証券コード:9691

第57期 中間株主通信

両毛システムズ

2025年4月1日 ▸▸▸ 2025年9月30日

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社第57期中間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の経営成績につきましてご報告申し上げますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 北澤 直来

事業の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資に引き続き持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が見受けられました。

しかしながら、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇や、自動車産業を中心とした米国の関税政策の影響などにより企業収益の改善に足踏みが見受けられるほか、不安定な国際情勢や地政学リスクへの警戒感も強まるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社では、10次中期経営計画（2023～2027年度）の3年目を迎え、「グループの総合力を高め、社会課題の解決に取り組み、お客さまと共に成長する」という方針のもと、「スピード」「変革」「新価値創造」をキーワードとして、「強化・拡大」「変革・成長」「構造改革」の3つの重点施策に取り組み、受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善を推進してまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、すべての製品・サービス分野が堅調に推移いたしました。加えて、下期案件が上期に前倒しになるなど、収益は当初計画を上回りました。

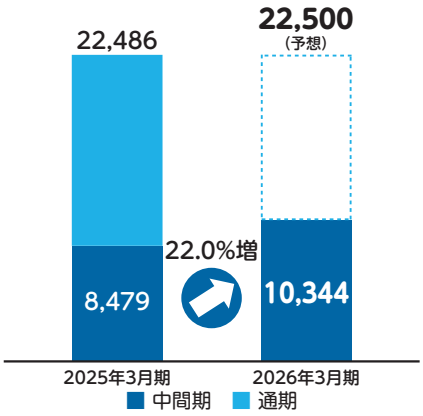
2026年3月期 中間期業績

売上高	10,344百万円（前年同期比22.0%増）	営業利益	1,141百万円（前年同期比79.6%増）
経常利益	1,122百万円（前年同期比87.2%増）	親会社株主に帰属する中間純利益	764百万円（前年同期比104.3%増）

決算ハイライト

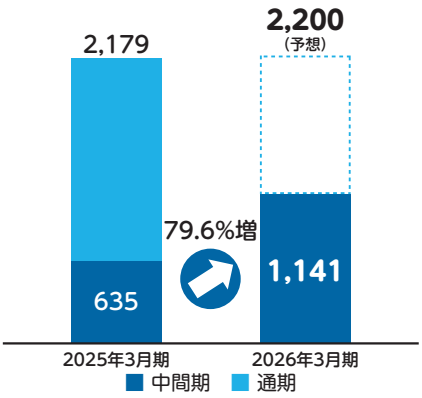
売上高

（単位：百万円）



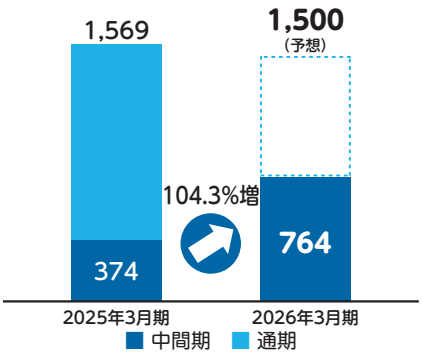
営業利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

（単位：百万円）

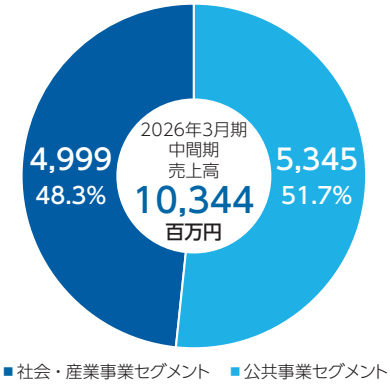


セグメント別の状況

社会・産業事業セグメント

米国の関税政策の影響を受け、一部の商談案件に中止や延期が発生いたしましたが、ＩＴ機器のリプレース商談等により、システム機器・プロダクト関連販売が堅調に推移いたしました。加えて、エネルギー事業者向け「ＧＩＯＳ®（ジーオス）」のシステム販売が引き続き堅調に推移いたしました。

セグメント別売上構成比（連結）



公共事業セグメント

法改正対応等による情報処理サービスが堅調に推移いたしました。加えて、自治体向けパソコンや学校向けＮＥＸＴ ＧＩＧＡ関連商談等のＩＴ機器の販売及び付帯するサービス提供により、システム機器・プロダクト関連販売やソフトウェア開発・システム販売が堅調に推移いたしました。また、品質や生産性の向上に取り組んだ結果、収益構造の改善につながりました。

売上高	セグメント利益
4,999百万円	956百万円
[前年同期比11.6%増]	[前年同期比0.1%減]

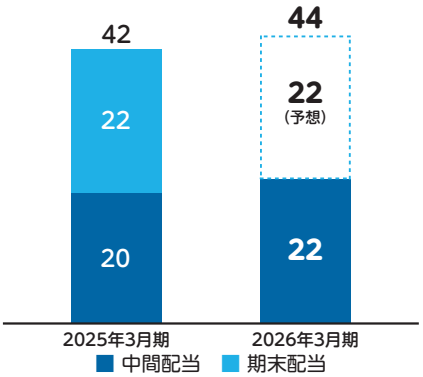
売上高	セグメント利益
5,345百万円	1,157百万円
[前年同期比33.7%増]	[前年同期比73.5%増]

利益配当

事業収益やキャッシュ・フローの状況を勘案し、経営基盤の強化と企業価値向上に向けた中長期的投資などの内部留保を考慮しつつ、総合的な判断により適正な株主配当に努めております。

当期の中間配当は計画どおり、1株当たり2円増配し、22円とさせていただきました。

（単位：円）



生成AIの活用による取り組み

更なる成長へ向けた新価値創出では、お客さまのＤＸ推進に貢献できるよう、生成ＡＩ技術を活用した様々なソリューションの提案に取り組んでいます。

生成AIによるソフトウェア開発効率化

現在、自動車は安全性、環境性能、快適性を満たすため、搭載する機能が増加し、電子制御システムやソフトウェアの開発は非常に複雑化しています。さらに、ＳＤＶ（Software Defined Vehicle）と呼ばれる「クルマのスマホ化」が進み、ソフトウェアの重要性はますます高まっています。

こうしたなか、生成AIを活用することで「作業工数の削減」や「成果物の品質向上」など、様々な効果が期待されています。

自動車業界の開発工程にとどまらず、今後は他のソフトウェア開発への展開（導入、活用）を積極的に進め、生産性向上に取り組んでまいります。

AIチャットボットによる業務の効率化

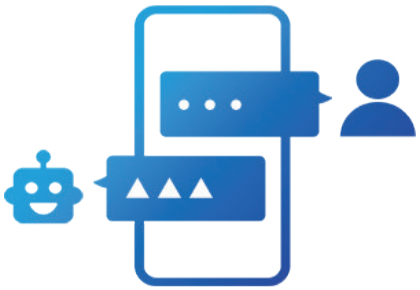
チャットボットによる問い合わせ窓口は、シナリオづくりや回答データの準備に時間がかかり、運用が煩雑になるケースが見受けられます。

MyAssisChat®は、生成AIを活用したチャットボットを簡単に作成・運用できるサービスです。

ファイルをアップロードしたり、URLを設定したりするだけで、特定の業務や用途に特化したチャットボットを手軽に作成できます。

日々のデータ更新やメンテナンスの手間を省き、スムーズに運用できるのが特長です。

業務の効率化や社内・庁内DXの推進に役立つツールとして、様々なシーンで活用いただけます。



JIP-ISMS517に基づく「ISO/IEC 27017認証」を取得

当社は、JIP-ISMS517に基づく「ISO/IEC 27017認証」（クラウドセキュリティに関する国際規格）を取得いたしました。

【登録範囲】

1.スマートメーターのデータ・設備・ネットワークを管理するクラウドサービスの提供
ISMS-CS種別：クラウドサービスプロバイダ
サービス名：メーターデータ運用管理システム

2.クラウドサービスにおけるサーバ、ストレージ及びネットワークのIaaSサービス提供
ISMS-CS種別：クラウドサービスプロバイダ
サービス名：RSホスティングサービス

ISMS-CS Registration JUSE-IR-399-CS01

ISMS-AC ISMS-CLS ISR005

インフォメーション（2025年9月30日現在）

会社の概況

設立	1970（昭和45）年1月31日
資本金	1,966百万円
事業内容	ソフトウェア開発・システム販売、情報処理サービス、システム機器・プロダクト関連販売、その他の情報サービス
本社	群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地
支社	東京都千代田区
営業所	高崎、埼玉、茨城、宇都宮
サポートセンター	中部（豊橋、名古屋）、西日本（広島）
開発センター	太田、仙台

役員

代表取締役社長 社長執行役員	北澤　直来
代表取締役 副社長執行役員	山崎　信宏
代表取締役 専務執行役員	藤野　修二
取締役 専務執行役員	大澤　実
取締役 常務執行役員	上山　和則
取締役（監査等委員）	福田　哲夫
社外取締役（監査等委員）	星野　陽司
社外取締役（監査等委員）	小島　昇
社外取締役（監査等委員）	竹原　朋子
常務執行役員	吉澤　健次
執行役員	坂本　直紀
執行役員	磯貝　孝夫
執行役員	西村　貴宏
執行役員	田所　貴幸
執行役員	森　弘司

株式の状況

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式総数	3,510,000株
株主数	907名

大株主

	株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
1	株式会社ミツバ	1,795	51.3
2	株式会社横浜銀行	173	4.9
3	HIKARI TSUSHIN INVESTMENTS OKINAWA株式会社	107	3.0
4	ヨシダトモヒロ	105	3.0
5	日野貞実	70	2.0

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 0120-232-711
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://www.ryomo.co.jp/koukoku/index.htm ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

各種お手続き

お手続き	お問い合わせ先 証券会社に口座をお持ちの場合	お問い合わせ先 特別口座の場合
●株主名簿に記載の住所・氏名などの変更 ●単元未満株式の買取請求 ●配当金の受領方法の変更 ●振込先の変更 ●マイナンバーに関するお問い合わせ ●その他手続きに関する事項	株式をお預けの証券会社にお問い合わせください	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711
●特別口座から証券会社の口座へ振替申請 ●特別口座の残高照会		
●支払期間経過後の配当金の支払請求	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部　0120-232-711	

UD FONT by MORISAWA